

新「丸亀市」誕生記念コンサート

# 丸亀讃歌

2005

**10/9** (SUN)

14:00開演(13:30開場)

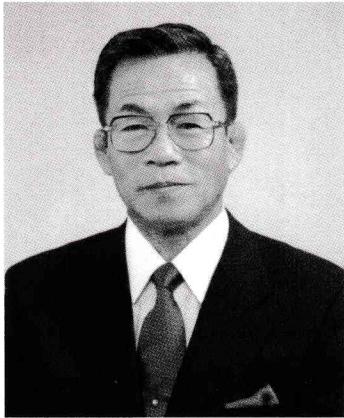
**丸亀市民会館大ホール**

■主催/丸亀市文化振興事業協議会・丸亀市・丸亀市教育委員会

■後援/NHK高松放送局・KSB瀬戸内海放送・四国新聞社・中讃ケーブルビジョン・西日本放送



# ご挨拶



丸亀市長  
新井 哲二

高空に、映える天守閣を望み、しみじみと新「丸亀市」誕生の喜びをかみしめております。

今年3月、新「丸亀市」が誕生いたしました。昨日、ここ丸亀市民会館において、新市誕生記念式典を開催し、また、本日、記念コンサートを開催できますことは、市長としてこの上ない喜びであります。

丸亀市にゆかりのある三善先生に、縁ある四国・丸亀を思い起こしていただき、丸亀に伝承されている「塩飽盆踊歌」をオーケストラ曲に編曲し誕生したのが「丸亀讃歌」です。

先生の芸術に対するひたむきな姿勢が、様々な効果を生み、先生が想いを込めて素晴らしい作品に仕上げられましたことに心から感謝し、お礼申し上げます。

新「丸亀市」が誕生を機に、新しい文化の創造を目指し、今後も歴史と文化の香るまちとして、ますます表情豊かなまちに変貌を遂げていくものと確信しております。

本日のコンサートを契機に「丸亀讃歌」が郷土に根付き、文化振興の輪がますます広がりますことを祈念し、市民の皆さまと新市誕生をお祝いいたしますとともに、今後ともご支援ご協力をたまわりますようお願い申し上げます。



丸亀市教育委員会  
教育長 小佐古 公士

待望の「丸亀讃歌」ができました。新「丸亀市」の誕生を祝う曲です。

もう5年程前から、格調の高い芸術性豊かな、そして市民に親しまれ愛される名曲があればいいのに、という夢が市民の間で語り合われておりました。それも作曲は三善晃先生にさせていただきたい、という贅沢な願いを籠めての構想でした。音楽界の雲上人ですから、願いが叶うのは不可能に近く、一向、時間をかけて待つことにしましたら、5年余の歳月が、夢を形にしてくれました。これは市民の熱意と猪熊弦一郎画伯のご縁や三善先生の本籍が丸亀市だということでしょうか。かくして「丸亀讃歌」は生まれたのです。

丸亀シティフィルの皆さんにとっても欣快の作品と言えましょう。うれしいことです。

今日は、「丸亀讃歌」をご披露しますと共に、三善先生の作品を主とした演奏会にしております。出演者も新丸亀市に相応しい人たちばかりです。

この丸亀文化の香りを日本中に届けたいものです。本日は、ありがとうございます。



丸亀市文化振興事業協議会  
会長 大西 義松

文化芸術の秋に、新丸亀市誕生記念コンサートが「丸亀讃歌」と銘打って開催されることになりました。真に時宜を得たイベントであると思われまふ。これに参加するそれぞれのグループには強烈な個性があり魅力があります。

丸亀市民吹奏楽団には二十数年の歴史があり、名実ともに他を圧する実力があります。綾歌吹奏楽団にも十年近いキャリアがあり、地域に於いて華々しく活躍を続けてきています。丸亀市青少年少女合唱団は市民会館を拠点とする合唱団で、一昨年の文化協会主催の由紀さおり・安田祥子コンサートにも賛助出演されましたが、このコンサートにはグレードの高い力を持っていないと、アオイスタジオ(株)が参加を容認しないと言う権威のあるコンサートに共演できたことで、その実力は実証されております。また、丸亀シティフィルハーモニックオーケストラも新進気鋭の集団で将来を囑望されています。

今回参加出演されるグループはそれぞれの個性と実力を遺憾なく発揮されて、市民に大きな希望と期待を持たせるもので真に意義があり、確信をもって推挙致します。願わくは盛会裡に終始することを望み賛辞と致します。



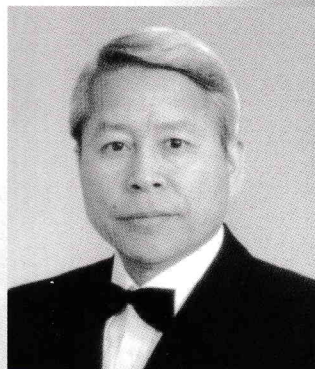
## Composer (作曲家)



三善 晃

1933年東京生まれ。幼児からピアノ、作曲などを学び、1951年東京大学入学。在学中、毎日コンクール作曲部門第1位を受賞し、1955年フランス政府給費留学生としてパリ国立高等音楽院に留学。レイモン・ガロワ・モンブラン、アンリ・シャランに師事。アンリ・デュティユーの影響も受ける。1960年東京大学文学部卒業。1963年東京芸術大学講師、1966年桐朋学園大学教授、1974年から1995年まで同大学学長。留学前から尾高賞（今までに6回受賞）、毎日音楽賞を受賞。他にイタリア賞、芸術祭賞、NHK作曲賞、東京都文化賞、モービル賞など多数受賞し、1989年に日本芸術院賞を、1984年のフランス政府学術文化賞パルム・アカデミックに続き1996年には同国政府より文芸オフィシエ賞を受勲する。1996年10月東京文化会館館長に就任。1999年12月日本芸術院会員に。2000年6月、オペラ「遠い帆」でサントリー音楽賞受賞。作品は合唱と管弦楽のための「レクイエム」「詩篇」「響紋」の三部作をはじめ、「オデコのこいつ」などの合唱曲、「リタニア」などの室内楽曲、「焉歌・波摘み」などのオーケストラ曲、「深層の祭」などの吹奏楽、「遠い帆」などのオペラ、「赤毛のアン」などの劇判音楽、こどものためのピアノ曲集「音の森」などあらゆるジャンルに亘って多数。2001年11月文化功労者に選ばれる。

## Conductor (指揮者)



山崎 盾之

愛媛大学教育学部特設音楽科卒業、在学中2年間委託生として東京芸術大学で学ぶ。卒業後、坂出高校、三本松高校、丸亀城西高校を経て、本年3月坂出高校音楽科主任を最後に退職。この間、徳島文理大学音楽学部講師を約10年勤めた。これまでにクラリネット奏者として、香川室内合奏団や高松交響楽団の定期演奏会にソリスト出演。高松や京都でリサイタルや室内楽コンサートを開催するなど、ソロ、室内楽、吹奏楽、オーケストラなど多方面での演奏活動を行っている。

現在、丸亀シティフィルハーモニックオーケストラ副理事長、かがわジュニア・ニューフィルハーモニックオーケストラ指揮者、丸亀市民吹奏楽団常任指揮者、MONCA de TADクラリネットアンサンブル主宰。著書に「愛媛・香川のわらべ歌」（柳原書店出版）がある。



杉平 公子

観音寺第一高校入学、途中父の転勤のため坂出高校（音楽コース）へ編入。その後、東邦音楽短期大学声楽科に進学。在学中、学生会長を務める。又、ソリストや合唱指揮者に抜擢され首席にて卒業。

故竹森節子、故小出浩平、故長井齊、佐倉友章、竹内肇、中村義春、木村富貴子、毛利準の各氏に師事。

坂出高校、藤井高校、丸亀高校（定時制）に勤務。神奈川県立花月園こどもセンター、倉敷紡績丸亀工場等の音楽指導、その他多数の演奏会に出演。

現在「香川音楽連盟」所属。「丸亀市少年少女合唱団」・「丸亀女声合唱団」指揮・指導、並びに老人福祉施設にてボランティア活動（唱歌指導）に励む。



**第Ⅰ部 丸亀市民吹奏楽団・綾歌吹奏楽団**

指揮/山崎 盾之

- ♪吹奏楽のための「クロス・バイ・マーチ」……………作曲/三善 晃
- ♪日本民謡組曲「わらべうた」……………作曲/兼田 敏  
(あんたがたどこさ/子守唄/山寺の和尚さん)
- ♪竹取物語 ……………作曲/三善 晃  
編曲/天野正道

**第Ⅱ部 丸亀市少年少女合唱団**

指揮/杉平 公子 伴奏/川崎 裕紀子

- ♪こどものための合唱曲集「貝がらのうた」より……………作詞・作曲/三善 晃  
♪貝がらのうた  
♪歌を投げてみようか  
♪知っているよね
- ♪小学唱歌メドレー「子供の四季」より……………編曲/平井哲三郎  
(春が来た/春の小川/おぼろ月夜/鯉のぼり/海/我は海の子/虫の声/もみじ/冬景色/スキー)

**第Ⅲ部 丸亀シティフィルハーモニックオーケストラ(MCO)**

指揮/山崎 盾之 コンサートマスター/福崎至佐子

- ♪歌劇「フィガロの結婚」序曲……………作曲/モーツァルト
- ♪丸亀讃歌……………編曲/三善 晃
- ♪喜歌劇「軽騎兵」序曲……………作曲/スッペ



## 吹奏楽のための「クロス・バイ・マーチ」

1992年の吹奏楽コンクール課題曲として作曲された行進曲です。「Cross-By」の意味は「行き交う」ということでみんなが、自由に歩みながら心を通わせ合っている風景を描こうとしたものです。それが2つのテーマの交錯や、4拍子のなかの3拍子といった作曲上の扱いにも表れています。

## 竹取物語

原曲はバレエ音楽で、電気オルガン、ピアノ連弾という編成のもので、それを天野正道氏が秋田県立秋田南高等学校吹奏楽部のために吹奏楽編曲を行いました。天野正道氏は三善晃氏や矢代秋雄氏、黛敏郎氏の作品の吹奏楽編曲を行っていますが、これが後に三善晃氏が吹奏楽曲を書くきっかけになったことは有名です。

## こどものための合唱曲集「貝がらのうた」より

これらの曲は教育出版株式会社の教科書の教材あるいは副本の補助教材として、小・中学生の生徒たちのために書いたものです。

- 貝がらのうた(1976年)  
置き忘れられた貝がらに寄せるメルヘン。だが、そこに子供自身の幼い恋情の回想が重なっている。
- 歌を投げてみようか(1976年)  
イメージの戯れなのだが、これはまた海が好きな子供の、無心で孤独な歌であるのかもしれない。
- 知っているよね(1983年)  
仲間呼びかけることによって自分を励ます歌。子供たちの祈りは、自分への励ましから生まれるのではないか。

(三善 晃氏解説)

## 丸亀讃歌

丸亀市にゆかりのある三善晃氏が、市民の方々に親しまれ、丸亀市固有の文化を発信できる楽曲を書きたいと、丸亀に伝承されている「塩飽盆踊唄」をオーケストラ用に編曲し誕生したのが「丸亀讃歌」です。

「塩飽盆踊唄」は塩飽水軍で有名な丸亀市沖本島に豊臣秀吉の朝鮮の役以後唄い、踊り続けられているといわれ、現在では、島内だけでなく丸亀旧市内でも踊られています。



## 丸亀市民吹奏楽団



1983年に高校・大学を卒業した後も吹奏楽を続けたいという有志が活動する場所を求めて、丸亀市近隣の社会人を中心に設立されました。現在は60名ほどの団員で、年齢層も10代から70代まで幅広く、楽しく練習しております。毎年の定期演奏会を活動の中心において、市主催の行事や地域のイベントにも積極的に参加し、また今年で18回目となる中讃地域の中学生を対象としたバンドクリニックの実施など多彩な活動をしています。

12月11日(日)『第32回定期演奏会』(丸亀市民会館大ホール)で『新世界より』(ドヴォルザーク作曲)を全曲演奏致します。是非、ご来場下さい。

連絡先;090-8697-0098(池内)

HP;<http://homepage1.nifty.com/mcwo/>

## 綾歌吹奏楽団



綾歌吹奏楽団は、丸亀市立綾歌中学校吹奏楽部のOBが中心となって、1998年に結成された吹奏楽団です。

年一回の定期演奏会、(今年は11月27日(日)丸亀市綾歌総合文化会館(アイレックス)にて第7回定期演奏会を行います。)また、アンサンブルコンテストをはじめ、「あやうた音楽祭」「あやうた文化祭」など地元のイベントにも積極的に参加。皆様に親しまれる吹奏楽団を目指して活動しています。

綾歌吹奏楽団ホームページ

[http://ww8.tiki.ne.jp/~takal571/ayauta\\_index.html](http://ww8.tiki.ne.jp/~takal571/ayauta_index.html)

## 丸亀市少年少女合唱団



平成14年4月、丸亀市民会館を拠点に活動する「公共施設付きの合唱団」として結成されました。

合唱団は、「結成記念コンサート」をはじめ、「スペイン聖イグナチオ少年少女合唱団」「由紀さおり・安田祥子童謡コンサート」「井上あずみコンサート」に出演、「第19回国民文化祭ふくおか2004」に参加、そして、定期コンサートや香川ジュニアコーラスフェスティバルに毎年参加するなど活発な活動を続けています。

私たち合唱団は、地域の音楽文化の振興を図ると共に、市民に親しまれる少年少女合唱団としてますます前進したいと思います。

## 丸亀シティフィルハーモニックオーケストラ(MCO)



MCOは、丸亀市を中心に演奏活動を行い丸亀市民及び近隣市町住民の音楽文化の発展に寄与することを目的に平成15年1月に設立。設立以来、弦アンサンブルのミニ演奏会を開催したり、丸亀城内で開催された「第2回ばさらの寄合IN丸亀城」に出演。昨年10月には、ユープラザうたづにおいてオータムコンサートを開催、ドラマでも話題となった「宿命」などを演奏しました。今年1月には「第3回まるがめクラシックギャラリーコンサート」を開催、平成18年2月19日に第4回のギャラリーコンサートを予定しています。MCOは「わがまちのオーケストラ」として皆さんに親しまれる楽団を目指し、合わせて演奏経験のある人、運営に興味のある人の入団を募集しています。



# 城のある町

作詞・作曲・歌 さだ まさし

(メロディは1番の歌詞によるもので2,3番は少し異なります)

*mf*

1. はるは — — おらしかに はなふ — — き — — ぼんぼりてん  
 2. なつは — — し らかべに はあて かん しゆ — — ー — あなとだん  
 3. あきは — — つ きみ の て かん しゆ — — ー — あなとだん

にの あう わ い あ か り と も — — い に し え に り  
 の を う と ち ら わ が が か げ な を を よ ぶ る — — ー — む し お く も

— — い し が き を に ひ と と つ ひ — — つ び — — つ ど み の あ げ た た げ だ れ か や  
 — — か ぞ わ ら に ぬ と お ぬ き — — ふ — — ー — お こ と ひ ら へ ー む か う

し の ぶ — — こ ろ — — し の あ — — る ま — — ち で  
 が て の じ ゑ う ぼ ん ー — — し の の あ — — る ま — — ー — ち ち ち  
 へ ん ろ — — み ち — — し の の あ — — る ま — — ー — ち ち ち

う ま れ た か ら — — つ ら い — — と き — — は さ か み ち の ぼ れ  
 う ま れ た か ら — — か な い し い — — と き — — は さ か み ち の ぼ れ

— — み か え り — — ざ か と — — を は — — ぬ け ひ て か り — — む け れ ぼ  
 — — し お わ る — — せ と し — — に — — あ け ひ て か り — — む け れ ぼ

— — ど う に か な る — — さ と か — — せ と の あ お いろ う み —  
 — — い し が き の — — む こ — — う に — — す ぐ は る が く —

*mf*

※し ろ の あ — — る ま — — ち で う ま れ た か ら — — woo — —

## 城のある町

一、春は お城に花吹雪  
 ぼんぼりに淡い明かり灯る  
 いにしえに石垣をひとつひとつ  
 積み上げた誰かを 偲ぶ頃  
 城のある町で 生まれたから  
 辛いときには 坂道のぼれ  
 見返り坂を抜けて 振り向けば  
 どうにかなるさと 瀬戸の青い海

二、夏は 白壁に赤い色  
 あなたの手の団扇が風を呼ぶよ  
 虫送り 夜空に遠花火  
 踊りの宴 やがて地藏盆  
 城のある町で 生まれたから  
 嬉しいときにも 坂道のぼれ  
 潮湧く瀬戸は 光りに揺れて  
 あれば北前船か さて幻か

三、秋は 月見の天守閣  
 ふと暖をとるや月菜汁  
 冬も 変わらぬ讃岐富士  
 金刀比羅へ向かう遍路みち  
 城のある町で 生まれたから  
 悲しいときこそ 坂道のぼれ  
 二の丸越しに 明日が見える  
 石垣の向こうに すぐ春が来る

※城のある町で 生まれたから…



**丸亀市**  
MARUGAME CITY